

年内の「とりまとめ」に向けた論点

平成25年9月27日
汚染水処理対策委員会事務局

1. 取り組むべきタスク

- (1) 地下水流動等のメカニズムの把握・分析
- (2) リスク評価（発生頻度、発生時の被害ポテンシャル）と各施策のプライオリティ
- (3) 現在取り組んでいる施策の評価（評価の視点、評価手法）
- (4) 上記を踏まえた各施策のプライオリティの考え方

2. 国内外からの技術提案の反映について

- (1) 本委員会としての整理・分類にあたっての視点
- (2) 求めている技術が提案・整理されるために留意すべき点

3. 今後の検討体制について

- (1) サブグループ（テーマ、メンバー、事務サポートなど）
- (2) 現地調査の進め方（事前の整理事項、重点調査箇所）

4. 「とりまとめ」について

- (1) とりまとめの方向性
（国際的な納得感が得られる包括的なストーリーなど）
- (2) とりまとめのイメージ・構成